PRESS RELEASE

報道関係者各位

日本自然保護協会

2019/10/8

2019 サシバ俳句コンテスト入賞者発表！
授賞式を 10 月 15 日（火）16 時から
みやこ下地島空港ターミナルで行います。

- サシバは、日本の里山で繁殖し、冬は東南アジアに渡りをする絶滅危惧種のタカ。沖縄県の宮古諸島は、サシバの重要な中継地。
- 日本自然保護協会はサシバの繁殖地（栃木県市貝町）、中継地（沖縄県宮古島市）、越冬地（フィリピン・ルソン島）で国際的なサシバの保全活動を進めている。
- **宮古島市在住の小中高生を対象に「サシバ俳句コンテスト」をこの夏も開催。島内 22 校 751 人から応募。**
- **10 月 15 日（火）、今年 3 月に開業したみやこ下地島空港ターミナルにて授賞式を開催。授賞式で大賞ほか各賞を発表。**

▲応募作品の一部

日本自然保護協会

公益財団法人日本自然保護協会（会員約 2 万 4 千人、理事長：亀山 章）は、宮古島市在住の小中高生を対象に「サシバ俳句コンテスト」をこの夏も開催し、島内 22 校 751 人からの応募をいただきました（昨年は 23 校 451 人）。
2019 年 10 月 15 日（火）、今年 3 月に開業したみやこ下地島空港ターミナルにて授賞式を開催し、本日発表した入賞作品の中から、大賞ほか各賞の発表、表彰をおこないます。ぜひ、取材にお越しください。

■「サシバ俳句コンテスト」とは？

沖縄県の宮古諸島は、絶滅の危機に瀕している渡り鳥「サシバ」の重要な中継地で、毎年、サシバが飛来します。
日本自然保護協会は、サシバとその生息地の保全活動に力をいれており、その一環としてサシバの繁殖地として有名な栃木県市貝町で今年 5 月に国際サミットを開催。中継地の宮古では 2020 年 10 月、越冬地のフィリピン・ルソン島では 2021 年に同サミットを開催する予定です。

宮古の人にとって、毎年やってくるサシバはとてもなじみ深い生きものです。今年から順次開催している国際サミットにあわせ、宮古島市の子どもたちにサシバへの思いを俳句にしてもらい全国に届けたいと考え、2018 年より市内の小中高校生を対象に「サシバ俳句コンテスト」を開催しています。

その結果、今年は小学校 11 校、中学校 8 校、高校 3 校、から全 751 件の応募がありました。

作品応募期間：7 月 19 日～9 月 10 日

対象：宮古島市内の小中高生

選考委員：宮古島ジュニア俳句育成会、宮古野鳥の会、三菱地所株式会社、株式会社ラッシュジャパン、公益財団法人日本自然保護協会

主催：公益財団法人日本自然保護協会

共催：宮古島ジュニア俳句育成会、宮古野鳥の会

協力：三菱地所株式会社、株式会社ラッシュジャパン、下地島エアポートマネジメント株式会社

日本自然保護協会　人を、想う力。街を、想う力。三菱地所　LUSH

■「2019 サシバ俳句コンテスト入賞作品」について

空にまう円をえがいてたかばしら　親川 槙
おおぞらをサシバのようにとびたいな　やまはら ゆうき
うんどう会サシバもいっしょにスイサーサー　長間 翔吾
ゆうゆうと空飛ぶサシバ美しき　多和田 大我
トーガニとさしばがつげる島の秋　手登根 芭奈
勇ましくとんだサシバが風となり　島袋 覚実
秋の使者つばさを広げて輪をえがく　奥濱 美晴
サシバの群れ夕日とともに舞い降りる　川平 瑞菜
夕暮れにサシバが奏でる二重奏　親泊 飛翔
飛べサシバ宮古を越えてどこまでも　宮城 凌我
サシバ見て本読みたいなアン開く　佐和田 美海
みゃーくの空勇ましく舞うスマバンダカ　濱川 咲良
飛べサシバ平和な空にのびのびと　岩瀬 胡桃
風物詩平和の使者よサシバ舞う　川満 明真
空澄みて令和のサシバとこしえに　友利 美月
かえりみちサシバのかげをおいかけて　ながはま まりあ
羽広げ未来のサシバに会いに行く　砂川 星愛
空高く舞ったサシバにダイヤの瞳　西田 有夢
紅白の勝負の空に舞うサシバ　伊波 きよら
島渡るサシバの群れと飛行機雲　渡久山 千尋
はぐれ鷹夕日のまん中とんでいく　砂辺 康介
手をひらげサシバと同じポーズする　國吉 真央
サシバ達空いっぱいに命の輪　栗國 楽生
清清しく空を駆け抜くサシバ達　古波蔵 伶來
たか渡る伊良部大橋海こえて　方 永志

■「2019 サシバ俳句コンテスト授賞式」について

授賞式では、入賞作品の中から、大賞ほか各賞を発表します。
会場は、今年 3 月に開業したみやこ下地島空港ターミナルです。

日時：10 月 15 日（火）16 時～17 時
会場：みやこ下地島空港ターミナル（〒906-0507 沖縄県宮古島市伊良部佐和田 1727）
内容：各賞として、大賞、日本自然保護協会賞、宮古野鳥の会賞、三菱地所賞、ラッシュジャパン賞の発表（各 1 名）ほか、佳作 20 名の発表と授賞式を行います。
※会場では 10 月 31 日（木）まで、入賞作品を展示しています。

＜参考＞

サシバについての解説や、日本自然保護協会のサシバの保全活動に関する詳細は下記当会ウェブサイトをご覧ください。

goo.gl/ddhPdp

公益財団法人 日本自然保護協会

自然保護と生物多様性保全を目的に、1951 年に創立された日本で最も歴史のある自然保護団体のひとつ。会員 2 万 4 千人。ダム計画が進められていた尾瀬の自然保護を皮切りに、屋久島や小笠原、白神山地などでも活動を続けて世界自然遺産登録への礎を築き、今でも日本全国で壊れそうな自然を守るための様々な活動を続けています。「自然のちからで、明日をひらく。」という活動メッセージを掲げ、人と自然がともに生き、赤ちゃんからお年寄りまでが美しく豊かな自然に囲まれ、笑顔で生活できる社会を目指して活動している NGO です。山から海まで、日本全国で自然を調べ、守り、活かす活動を続けています。

http://www.nacsj.or.jp/

本リリースに関するお問合せ

日本自然保護協会　自然のちから推進部：三好

Tel: 070-4430-9870　Email: miyoshi@nacsj.or.jp

〒104-0033　東京都中央区新川 1-16-10　ミトヨビル 2F